

国営土地改良事業「東近江地区」の地区調査について

概要

東近江地区八日市地域において、地域に残る狭小な農地、ほ場の排水不良および水路からの漏水等により、効率的な営農に支障を生じている状況を踏まえ、自動走行農機等に対応した大区画整備等を内容とする事業を国が検討しています。

この事業は、小豆、キャベツ、にんじん、たまねぎ等の高収益作物の作付け拡大、集落営農法人の広域化、水田作経営の更なる省力化および地域商社を主体とした流通販売との連携による地域全体の所得向上の実現が目的とされており、本県農業のモデルとなる取組が検討されていることから、県も国と連携して推進してまいります。

- 令和3年度～令和5年度(予定) 地区調査(必要な対策やその技術的可能性等の検討)
- 令和6年度(予定) 全体実施設計(詳細な施工計画や実施設計)
- 令和7年度(予定) 事業着手

国営土地改良事業「東近江地区」 地区調査 計画一般平面図



国営土地改良事業「東近江地区」(現時点の構想)

- (課題)
- ・非効率な営農
→狭小な農地(1反区画)、排水不良
 - ・施設の維持管理費の増大
→用水路の老朽化

- (対応)
- ・水田の大区画化・汎用化
 - ・農道、用排水路の整備

- (事業の概要)
- ・事業期間 R7年度～R20年度(予定)
 - ・受益面積 約680ha
 - ・事業内容
 - ・区画整理
 - ・用水施設の改修
 - ・事業費 約340億円(地区調査時点の概算)
 - ・負担割合 国2/3 県25.2% 市5.0% 地元3.2%

水田のフル活用による儲かる農業を実現

- ・担い手の経営規模を拡大
- ・スマート農業機械等の導入
- ・水田野菜の生産を拡大

無人トラクター

直進アシストトラクターによる畝立作業

経験が必要な畝立作業において、不慣れた作業者でも直線的な畝立が可能

	区画整理・用水改良(重複)		近江鉄道
	区画整理		高速道路
	用水改良		国道
	用水路(改修)		河川
	用水路(既設)		